

パニックを防ぎ、

① パニックにならないよう 説明する

炭疽は人から人へと伝染することはない。
また万一、炭疽菌に曝されてしまった後でも、すぐに発症するわけではなく、
適切な治療を早期に受けることで、発症を防ぎうることを説明。

②

不審な郵便物等を受け取ったとの 通報に対して（未開封の場合）

封を開けずにすぐ警察へ!



- 当該封筒又は小包を振ったり、においを嗅いだり、中身を空けないようにし、ビニール袋か他の種類の容器に入れることを指示。
- もし容器が手近でない場合、その場にある物で覆い、その覆いをはずさないように指示。
- 部屋の扇風機や換気ユニットのスイッチを切るよう指示。
- 部屋を離れ、ドアを閉め、その区域に人が立ち入らないように指示。
- すぐに手を石鹸と水で洗うことを指示。その際、次亜塩素酸系消毒剤（漂白剤）や他の滅菌剤を使用しないように指示。
- 警察に連絡済みかを確認し、まだであれば、連絡すること。
- 現場では、当該者の健康状況を確認するとともに、今後のフォローのため当該者のリストを作成し、都道府県等衛生部局、地方衛生研究所等に正確な情報を提供すること。
- 警察、消防等の関係機関と連携の上、建物の閉鎖、消毒等について適切な対応を実施すること。小規模な場合（机の上等）は、次亜塩素酸塩で拭き取るなどの処理を実施することとなるが、詳細については、本紙裏面に示す。
- 検査の結果を速やかに当該者及び関係機関に連絡する。万一、陽性の場合は当該者に適切な医療機関を紹介し、受診を勧めるとともに、関係機関とその後の対応について協議すること。